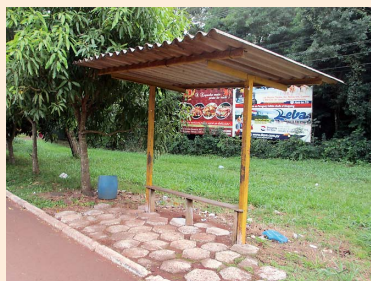


国際会議から ITA 国際トンネル会議 (WTC2014)

本会議はトンネルや地下構造物に関する世界最大の国際会議です。第40回目を迎えた今回も、口頭発表、ポスターセッション、企業展示が行われました。その主なトピックは計画、設計、建設、維持管理などで、火災時の避難計画などの安全に関する発表もあり、それぞれに活発な議論が行われていました。

経験工学とも呼ばれる土木工学において、トンネルは、特に経験の重要度が高いと言われています。本会議を通じて、各国のトンネル技術者の経験が世界共通の財産となり、トンネル工学の発展に強く影響を与えている会議という印象を受けました。



地元のバス停、時刻表はない

今年度の会議が開催されたフォス・ド・イグアスは人口30



牛田貴士
構造物技術研究部
トンネル研究室
研究員

万人程度の地方都市で、公共交通はバスのみでした。しかし、ブラジル全体に目を向けると、サンパウロやリオ・デ・ジャネイロなどの大都市では、地下鉄建設や計画が進行しており、リオ・デ・ジャネイロからサンパウロを経由してカンピーナスまで高速鉄道も計画されています。また、サンパウロでは、環状道路建設も進んでおり、ブラジルの鉄道、トンネル業界は活気に満ちているようでした。

正式名称：ITA-AITES World Tunnel Congress 2014
 開催国：ブラジル(フォス・ド・イグアス)
 期間：2014/5/9-15
 主催：International Tunnelling and Underground Space Association
 開催頻度：1年に1回
 次回開催予定：2015年5月 クロアチア
 ホームページURL：<http://www.wtc2014.com.br/index.php>